す

世 界 史 B 問 題

はじめに，これを読みなさい。

1. この問題用紙は 14 ページある。**ただし，ページ番号のない白紙はページ数に含まない。**
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか，受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい，解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は，すべて解答用紙の所定欄にマークするか，または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は，必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入のこと。
7. 訂正する場合は，消しゴムできれいに消し，消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は，絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. **解答用紙はすべて回収する。**持ち帰らず，必ず提出すること。ただし，この問題用紙は，必ず持ち帰ること。
10. 試験時間は 60 分である。
11. マークの記入例

良い例	悪 い 例
●	◉ ⊗ ◍

〔Ⅰ〕 次の文章を読み，下記の問(1～6)に答えなさい。

ドイツ統一運動の中心となったプロイセンでは，1861年に［　①　］が国王に即位し，翌年ユンカー(a)出身のビスマルクが宰相となった。ビスマルクは，議会の反対を無視して軍備拡大政策を強行し，1864年，1866年，1870年に，それぞれ異なった国との間で戦争を開始した(b)。それらの戦争を経て，1871年にはドイツ帝国が成立し，［　②　］で皇帝の戴冠式がおこなわれた。

問 1　空欄①に入れる語として適当なものを次の選択肢(**A**～**D**)の中から一つ選びなさい。

A　ヴィルヘルム1世

B　ヴィルヘルム2世

C　フリードリヒ＝ヴィルヘルム4世

D　ヨーゼフ2世

問 2　空欄②に入れる語として適当なものを次の選択肢(**A**～**D**)の中から一つ選びなさい。

A　ベルリン

B　パ　リ

C　ヴェルサイユ

D　フランクフルト

問 3　下線部(a)の「ユンカー」について書いた次の文章(A～D)のうち，**誤っているもの**を一つ選びなさい。

A　ユンカーはグーツヘルシャフトによって勢力を増大させた。グーツヘルシャフトとは，地主が農民の賦役労働によって商品作物の生産をおこなう農場経営形態のことである。

B　ユンカーは，1807年の農民解放以降も大きな勢力をもちつづけた。この農民解放は，シュタインやハルデンベルクによっておこなわれたプロイセンの近代化政策の一つであった。

C　フリードリヒ2世の時代はプロイセン絶対王政の最盛期であったが，それはユンカーの勢力によって支えられていた。

D　ユンカーは，エルベ川以西に多く存在した。エルベ川は，ハンブルクを経て北海に注ぐ川である。

問 4　下線部(b)の三つの戦争の対戦相手を，年代の古いものから新しいものへと順に記しているのはどれか。次の選択肢(A～D)の中から一つ選びなさい。

A　デンマーク，オーストリア，フランス

B　オーストリア，デンマーク，フランス

C　フランス，デンマーク，オーストリア

D　デンマーク，フランス，オーストリア

問 5　下線部(b)の戦争について書いた次の文章(A～D)のうち，**誤っているもの**を一つ選びなさい。

A　オーストリアがプロイセンとの戦争に敗れたことがきっかけとなって，オーストリア＝ハンガリー帝国が成立した。

B　フランスとの戦争の結果，ドイツはアルザス・ロレーヌを獲得した。

C　オーストリアとの戦争は，スペインの王位継承者の問題に端を発したものである。

D　デンマークとの戦争は，シュレスヴィヒ・ホルシュタイン問題が原因で勃発した。

問 6　19 世紀のドイツの文化について書いた次の文章(**A**～**D**)のうち，**誤っているもの**を一つ選びなさい。

A　ロマン主義は，理性を重視する啓蒙主義への反発を一つの大きな特徴とする。

B　ヘーゲルの思想は，弁証法によって特徴づけられる。

C　『ファウスト』は，ゲーテが若くして完成させた作品である。

D　ハイネは抒情詩人として知られるが，社会革命に共鳴する運動家でもあった。

〔Ⅱ〕 次の文章(1～3)の空欄(①～⑮)にあてはまる適当な語句を選び，**記号(A～D)**で答えなさい。

1　フランス革命の遠因として，ルイ14世の治世の後半に起こった二つの出来事をあげることができる。

第一は1685年に熱心なカトリック信徒だった愛妾(あいしょう)マントノン夫人の感化でルイ14世が祖父の［　①　］が前世紀末に発した［　②　］を廃止したこと。これによって，産業や経済に従事していたプロテスタント信徒が国外追放となり，フランスの国家的生産力はいちじるしく低下し，財政的基盤の沈下を招いた。

第二は，ルイ14世がスペイン＝［　③　］家の断絶にさいして，孫の［　④　］の王位継承権を主張してオーストリア・イギリス・オランダを相手に1701年に始めたスペイン王位継承戦争である。この戦争は1713年の［　⑤　］条約によってイギリスに対するフランスの敗北というかたちで事実上決着し，海外植民地の喪失と財政的負担の増大を招いたばかりか，絶対王権の揺らぎというフランスにとって好ましからざる結果をもたらすこととなった。

2　ルイ15世の死去にともなって1774年に即位したルイ16世は財政危機を解消するため，財務長官に重農主義経済学者の［　⑥　］を起用し，穀物取引の自由化やギルド廃止等の改革に当たらせたが，大貴族など特権身分の反対を受けて更迭を余儀なくされた。その後，スイス人銀行家［　⑦　］が財務長官となり，特権身分への課税を図ろうとしたが，この財政改革もまた大貴族らの反発を受けて失敗に帰した。しかし，1789年に至って，財政破綻が必至となったため，ルイ16世は［　⑦　］を再度財務長官に起用し，免税特権の廃止を図ろうとした。これに対し特権身分の聖職者や貴族は全国三部会の開催を求め，王がこれに応じた結果，それぞれの身分にわかれて各選挙区の立候補者に対する投票が行われ，第一身分の聖職者約300人，第二身分の貴族約300人，第三身分の平民約［　⑧　］人が選出された。全国三部会議員は5月5日から

[⑨] に集まったが，身分別議決か個人別投票かで，第一・第二身分と第三身分との意見がわかれたため，第三身分の代表者たちは自分たちだけで [⑩] を結成し，会議場を球戯場(ジュ・ド・ポーム)に移して会議をつづけた。

やがて，これに第一身分の多くと第二身分の一部が合流し，ルイ 16 世も承認せざるをえなくなったため，三つの身分が [⑩] に一体化することとなった。

3　革命の過激化でルイ 16 世が処刑されたことに脅威を抱いたヨーロッパの列強は 1793 年に第一回対仏大同盟を結成し，干渉を開始した。これに対し，男子普通選挙によって前年に成立していた [⑪] は，1793 年 2 月，18 歳から 35 歳までの独身男性に対する徴兵制を可決して動員態勢を敷くかたわら，4 月にその内部に [⑫] を設置，これに行政と軍事に関する独裁的な権限を与えた。山岳派のロベスピエールは 6 月にジロンド派を追放したのをきっかけに [⑫] の権力を掌握，対立する諸党派を次々に断頭台に送った。1794 年 7 月まで続いた山岳派の独裁政治を恐怖政治と呼ぶ。山岳派はこの間，封建地代の無償廃止，最高価格令，革命暦，1793 年憲法の採択など過激な改革を推し進めたが，山岳派内部での対立により，左派の [⑬]，右派の [⑭] が処刑されたことで，穏健共和派が明日は我が身と恐怖心を抱き，[⑮] のクーデタを決行。これによりロベスピエールとその一党が逮捕・処刑され，恐怖政治は終わりを告げた。

① **A**　ルイ 12 世　**B**　ルイ 13 世　**C**　アンリ 3 世　**D**　アンリ 4 世

② **A**　ミラノ勅令　**B**　ナントの勅令　**C**　宗教寛容令　**D**　人身保護法

③ **A**　ヴァロワ　**B**　ブルボン　**C**　ハプスブルク　**D**　フッガー

④ **A**　ブルゴーニュ公　**B**　フェリペ　**C**　オラニエ公　**D**　カルロス

⑤ A ユトレヒト　B マーストリヒト
C ピレネー　D ラシュタット

⑥ A コルベール　B ネッケル　C テュルゴー　D ケネー

⑦ A コルベール　B ネッケル　C テュルゴー　D ケネー

⑧ A 300　B 600　C 700　D 1000

⑨ A ブロワ　B パ　リ
C ヴェルサイユ　D ヴァレンヌ

⑩ A 憲法制定議会　B 国民議会
C 国民公会　D 立法議会

⑪ A 憲法制定議会　B 国民議会
C 国民公会　D 立法議会

⑫ A 公安委員会　B 革命裁判所　C 保安委員会　D 革命委員会

⑬ A エベール　B マラー　C ダントン　D ミラボー

⑭ A エベール　B マラー　C ダントン　D ミラボー

⑮ A ブリュメール　B メッシドール
C フリュクティドール　D テルミドール

〔Ⅲ〕 次の文章を読み，下記の問(1～11)に答えなさい。

2011年3月の東日本大震災で発生した福島第一原子力発電所での事故を機に，現在，原子力発電所(原発)をめぐる議論が全世界でなされている。原子力発電とは，原子炉で発生する熱を利用する発電で，1954年にソ連で実用化されたものだが，一方，ほぼ同じ原理に基づき，並行して開発されてきたのが核兵器である。これは原子核エネルギーを利用した兵器であり，(a)**1945年7月に原子爆弾(核分裂反応を利用)の，52年11月に水素爆弾(核融合反応を利用)の，それぞれ最初の開発がともにアメリカで行われ，成功した**。そしてこの核兵器をめぐり，今からちょうど50年前，現在の原発危機と同様，全世界が注目し，憂慮した事件があった。いわゆるキューバ危機である。

キューバ危機とは，1962年10月，アメリカ合衆国の南，カリブ海に浮かぶ島，キューバをめぐるアメリカとソ連の対立に始まり，人類が全面核戦争の危機に直面した事件である。

19世紀まで，キューバは［ B ］の支配下にあった。だが世紀後半，［ B ］の悪政に対して住民が蜂起し，第1次独立戦争(1868～78年)が，また追って，ホセ＝マルティを指導者として第2次独立戦争(1895～98年)が起き，このさい［ B ］軍がアメリカの権益を害したため，アメリカの干渉を招くことになった。

1898年，それまでのキューバ独立運動，またハバナ湾内での米艦メーン号の爆沈事件を口実に，アメリカが［ B ］に対して開戦し，いわゆるアメリカ＝［ B ］戦争が勃発した。アメリカは4ヶ月で一方的な勝利を収め，同年8月に仮講和，12月にはパリで講和が成立して，この結果，アメリカは(c)**［ア］・［イ］・［ウ］を獲得した**。そしてキューバについては，これを独立させた上で，事実上の保護国とした。具体的には，1901年，アメリカがキューバ憲法の付属事項として，［ カ ］条項と呼ばれる8条項を組み込ませたのだが，これは，キューバと他国の条約や，借款の制限，アメリカの干渉権や海軍基地設置権などを内容とするものだった。

それから約一世代後，アメリカとキューバの関係は大きく変化する。1933年，新大統領に就任した［キ］は，孤立主義・膨張主義・ドル外交を排し，経済的．政治的な南北アメリカの一体化をめざして友好に努める外交政策，いわゆる［D］外交を展開した。この流れの中で，1934年，キューバを保護国化した［カ］条項は廃止され，キューバの完全独立がここに承認された。

だがその後のキューバでは，1940年代前半，および50年代半ば，［サ］による独裁政権がアメリカ資本と結託し，国家の腐敗が進んだ。これに反旗を翻した人物の筆頭が［シ］である。彼は1953年に武装蜂起して逮捕されたが，釈放後メキシコに移り，56年になるとキューバにもどってゲリラ戦を展開した。そして1959年1月，彼らが指導した武装解放闘争により，ついに［サ］政権は崩壊，翌月に［シ］は首相に就任した。これがいわゆるキューバ革命である。

一方，ソ連でスターリンの後を受けて共産党第一書記となり，スターリン批判と平和共存路線を打ち出していた［E］は，キューバ革命から8ヵ月後の1959年9月，ソ連最高指導者として初めてアメリカを訪問し，［ク］大統領と会談した。両者の主張は**ベルリン問題**(f)をめぐって対立したが，ここに米ソ協調の精神が生まれた。

それから約1年半後，また，キューバ革命から2年後の1961年1月，［ク］政権末期のアメリカは，ついにキューバと断交する。そしてその緊張は，4ヵ月後の5月，一気に高まった。［シ］が，キューバ革命は社会主義革命であると宣言し，ここにキューバはユーラシア大陸以外で初の社会主義国となり，アメリカに大きな衝撃を与えたのだった。［ク］の後を受けた［ケ］は同年，キューバ封じ込めのため，反共同盟案である「進歩のための同盟」をラテンアメリカ諸国に提案したが，あまり成果はあがらなかった。

米ソは再び対立，そして翌年の1962年，ソ連がキューバにミサイル基地の建設を図ったことが直接のきっかけとなって，アメリカが強硬にその撤去を求め，両国の対立はさらにエスカレートした。1950年代の末以来，両国で，大型核弾頭を搭載し，長距離を射程とするミサイル，大陸間弾道弾(ICBM)が開発されて

いたが，キューバに計画されたソ連のミサイル基地は，中距離ミサイルの基地としてアメリカに対してこの上ない脅威だったのである。だが最終的にはソ連がキューバからミサイルの撤去に応じ，全面核戦争の危機はここに回避された。なおこのキューバ危機を始めとするソ連の対外政策のつまずきは，［ E ］がその2年後に解任される背景のひとつでもあった。

その後，［ シ ］はひきつづき社会主義キューバの国づくりに努力し，21世紀になってなお国家の最高指導者を務めたが，同国の経済は停滞している。そしてキューバ危機からちょうど50年後の現在，1991年12月のソ連消滅もあって，キューバから始まる核戦争の可能性はほぼなくなったように思われる。

だがその一方，キューバ危機の後，**核実験を行い，核の保有を宣言する国**(g)がくりかえし出現し，そのたびごと，地域紛争で核兵器が使用される可能性が危惧されている。また同じくキューバ危機の後，本文冒頭で触れた**原発が多く建設されてきたが**(h)，**2001年9月にアメリカで発生した同時多発テロ**(i)を顧慮すれば，この原発を狙ったテロの可能性も全否定はできない(アメリカ・ニューヨーク州のインディアン・ポイント原発は，マンハッタン島の北，約50 kmの位置にある)。

問 1　下線部(c)に関して，空欄 ア ～ ウ に入る地名を，キューバを含め，「**西から東**」の順に並べた組み合わせとして，最も適当なものを選び，**番号をマーク**しなさい。

① ア グアム　イ プエルトリコ　ウ フィリピン　(キューバ)
② ア フィリピン　イ プエルトリコ　ウ グアム　(キューバ)
③ ア グアム　イ フィリピン　ウ プエルトリコ　(キューバ)
④ ア フィリピン　イ グアム　(キューバ)　ウ プエルトリコ
⑤ ア グアム　イ フィリピン　(キューバ)　ウ プエルトリコ

問 2　空欄 カ ～ ケ に入る人名の組み合わせとして，最も適当なものを選び，**番号をマーク**しなさい。

① カ ローズヴェルト　キ プラット　ク ケネディ　ケ アイゼンハウアー
② カ ローズヴェルト　キ アイゼンハウアー　ク プラット　ケ ケネディ
③ カ ローズヴェルト　キ アイゼンハウアー　ク ケネディ　ケ プラット
④ カ プラット　キ ローズヴェルト　ク アイゼンハウアー　ケ ケネディ
⑤ カ プラット　キ ローズヴェルト　ク ケネディ　ケ アイゼンハウアー

問 3　空欄 サ と シ に入る人名の組み合わせとして，最も適当なものを選び，**番号をマーク**しなさい。

① サ バティスタ　シ カストロ
② サ カストロ　シ バティスタ
③ サ カストロ　シ ゲバラ
④ サ ゲバラ　シ バティスタ
⑤ サ ゲバラ　シ カストロ

問 4　下線部(g)に関して，冷戦の終結後に自国初の核実験を行った国として，最も適当なものを選び，**番号をマーク**しなさい。

① インド　② パキスタン　③ イラン
④ フランス　⑤ 中　国

問 5　下線部(h)に関して，1986 年，原子炉が爆発するという事故がソ連(当時)の原発で起こった。この原発がある，現在の国の名称として，最も適当なものを選び，**番号をマーク**しなさい。

① ベラルーシ　② ウズベキスタン　③ カザフスタン
④ ウクライナ　⑤ ロシア

問 6　下線部(a)に関して，アメリカが原水爆の実験を繰り返し行い，周辺住民がいわゆる「死の灰」を浴びて被ばくした，中部太平洋マーシャル諸島の**環礁の名**を記しなさい。

問 7　空欄 **B** に入る**国名**を書きなさい。

問 8　空欄 **D** に入る語句を**漢字 2 字**で書きなさい。

問 9　空欄 **E** に入る**人名**を書きなさい。

問10　下線部(i)に関して，このテロを受け，事件の首謀者が匿われているとみなして，**アメリカがまず進攻した先の国の名**を書きなさい。

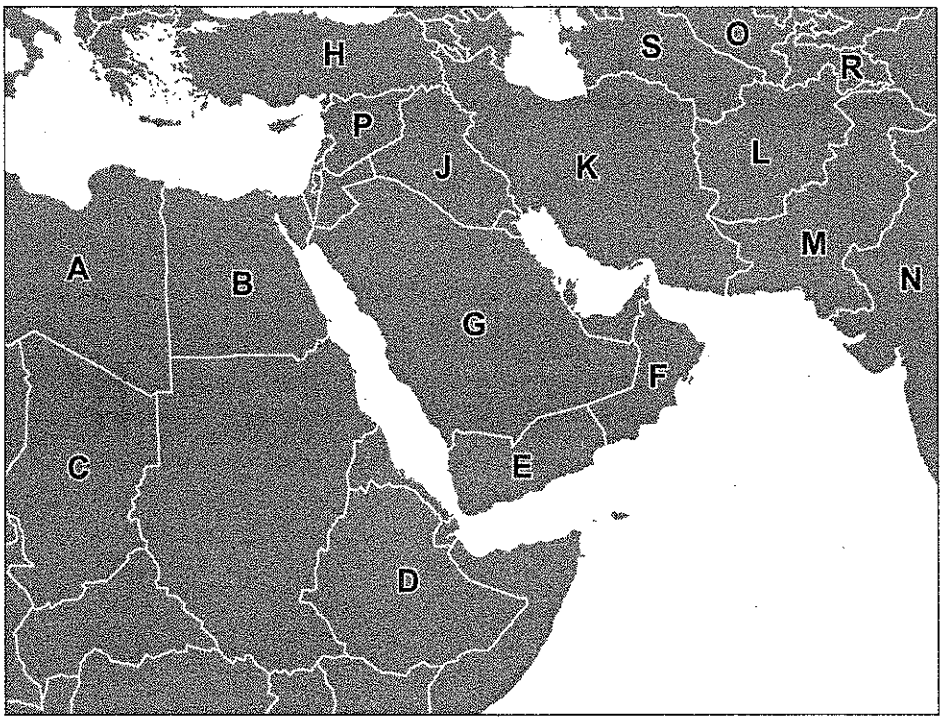
問11　下線部(f)に関して，この会談の 2 年後に建設された，いわゆる「ベルリンの壁」について，**3 行以内**で説明しなさい。

〔Ⅳ〕 次の文章を読み，空欄(①～⑥)に適当な語句を入れなさい。ただし，空欄に入る語句は**地名・国名・人名のいずれか**であるとする。

19世紀，イタリアの統一をめざす運動において，サルデーニャ王国は大きな役割を果たした。サルデーニャ王国は，［ ① ］を首都とする北イタリアの小国家であった。ヴィットーリオ＝エマヌエーレ2世のもとで首相となった［ ② ］は，1859年には［ ③ ］に宣戦し，ロンバルディアを獲得した。1860年には，サヴォイア等を［ ④ ］に譲るのとひきかえに中部イタリアを併合した。また同年，［ ⑤ ］が義勇軍を率いて両シチリア王国を征服し，ヴィットーリオ＝エマヌエーレ2世に献じた。その結果，1861年，イタリア王国が成立した。イタリア王国は1866年にヴェネツィアを併合，1870年にはローマ教皇領も占領した。以後，ローマ教皇とイタリア政府は，ラテラノ条約によって和解するまで，対立を続けた。イタリア政府の代表としてラテラノ条約に署名したのは首相の［ ⑥ ］であった。

〔V〕 次の文章(1～10)の空欄(ア～シ)にカタカナで適当な語句(現在の国名)を入れ，それぞれの国の位置を【図α】に示されたアルファベットを用いて示しなさい(該当するものが無い場合はZとすること)。解答に際しては，各解答欄の左側(大きい欄)に国名，右側(小さい欄)にアルファベットを記入すること。なお，国名を記入する際は，「共和国」，「王国」，「連邦」など政体を示す語は省略すること。

【図α】



(注：国境線は2011年5月時点のもの)

1. 紀元前4世紀末に創始されたマウリヤ朝の都は現在の［ア］の領土内に置かれた。

2. イスラーム帝国の都は，4代目カリフのアリーの時代は現在の［イ］の領土内に置かれていたが，ムアーウィヤがカリフとなったウマイヤ朝期には現在の［ウ］の領土内に遷された。

3. 「中カリフ国」ともいわれるファーティマ朝は，909年に現在の［　エ　］を中心とした地域に本拠を置いた。

4. 「チンギス＝ハンの女婿(娘婿)」と称したティムールは，チャガタイ＝ハン国の分裂に乗じて自らの影響力を強め，現在の［　オ　］に位置する都市を首都とする国家を建設した。

5. サファヴィー朝の第5代シャーであるアッバース1世は新たな首都を現在の［　カ　］の領土内に構え，オスマン帝国に対抗した。

6. オスマン帝国は1571年にレパントの海戦でスペインに敗北して地中海の制海権を失った。さらに1600年にイギリス東インド会社が設立されると，インドの権益を狙うイギリスは，アッバース朝の初期までイスラーム世界の文化・経済の一大中心地であった，現在の［　キ　］の領土内に位置するペルシャ湾岸の港湾都市に商館を設置するなど，オスマン帝国による東西貿易の独占状態に終止符が打たれることになった。

7. ロシアと戦って敗れたイランは，1828年に結ばれた条約によって，現在の［　ク　］の領土にあたる地域をロシアに割譲することになった。

8. 19世紀に入ると，カージャール朝のイランは，現在の［　ケ　］の領土内に侵入し，影響力拡大を試みたが，インドの権益を守るために［　ケ　］への侵攻を進めていた［　コ　］による攻撃を受け，撤退した。

9. 現在の［　サ　］の大部分は，1912年に開催されたローザンヌ講和会議で，オスマン帝国からイタリアに譲渡されることとなった。

10. 1930年の時点で，サハラ以南アフリカ地域の中でヨーロッパ諸国による植民地支配下に置かれていなかったのは，エチオピアと［　シ　］のみである。